

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	小規模保育所ハーモニーキッズ
法人名	有限会社ハーモニーキッズ
法人所在地	杉並区高井戸東2丁目29-13

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・ 自然と触れ合う活動。
- ・ 動物の動きを真似して身体を動かす活動。

<テーマの設定理由>

私たちの保育園は小さな保育園で、家庭のような温かい雰囲気の中、すべての保育者が子どもたち一人一人と丁寧に関わっています。散歩先では、カモやシラサギ、鯉、トカゲ、バッタ、季節の花や木の实など、様々な自然と触れ合うことができます。子どもたちが自然に触れ合う機会が多いため、自然や動物への興味関心が育ちやすいと感じています。

散歩中に出会う様々な動植物に触れ、動物の動きを真似ることで、自然への好奇心をさらに深め身近に感じることができると考えこのテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

6月・自然探し散歩。・水遊び、泥遊び（自然の感触を楽しむ）7月・夏の生き物観察（セミ探し・虫の声聞く）8月・夏まつり準備（お店屋さんごっこ）9月・ドングリ拾い落ち葉拾い。秋の虫し。

10月・運動会 ハロウィンバッグ作り。11月・サツマイモ堀 スイートポテト作り、サツマイモの蔓でリース作り。12月・クリスマス会、チューリップ植え。1月・親子リトミック。2月・節分・霜柱の観察 3月・ひな祭り制作 チューリップの観察。

毎月2回 講師によるリトミック。毎月1回サーキット遊び。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵本 どうぐり（大日本図書）ばけばけはっぱ（ハッピーオウル社）さわってごらんふしぎなふしぎなまほうの木（ひさかたチャイルド）いろいろはっぱ（アリス館）/講談社図鑑 MOVE初めての図鑑シリーズ（のりもの 身近な生き物 植物 動物 昆虫 きょうりゅう 魚）/トランポリンクッションコイルスプリング/

マット/ バランスレール/ ソフトブロックプレイマット/ボール/ジョイント縄跳び/チューリップ球根/リトミック講師

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

散歩では、季節の花を観察したりドングリを拾ったりして自然に触れ、畑ではサツマイモ掘りを体験しました。収穫したサツマイモの蔓を使ってリース作りをしたり食育としてスイートポテト作りを楽しんだりすることで、食べ物への関心を深めました。また、チューリップの球根を植え、成長を見守ることで自然の変化に気づき、植物への愛着を育みます。さらにリトミックでは音楽に合わせて動物の動きを真似し、全身を使って表現する楽しさを味わいました。また、図鑑を使って散歩で見つけた花や木の実、動物の動きを見比べながらより深く、関心を持てるように工夫していった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動中の子どもたちは自然に触れながら様々な発見を楽しんでいました。サツマイモ掘りでは、「大きいお芋取れた」と喜びスイートポテト作りでは「ゴロゴロ」と形を楽しみながら調理に挑戦しました。秋の散歩では「赤い葉っぱだね」と保育者や友だちと一緒に季節の変化に気づき、「この葉っぱでお化けができたよ」と想像力を膨らませて自然を楽しむ姿が見られました。

親子リトミックでは、保護者から「また参加したい。」「楽しかった」と好評の声が聞かれ、親子で一緒に体を動かす楽しさを味わいました。

また、チューリップの球根を植えたあとは「チューリップたのしみだね」「まだ咲かないね」など成長を楽しみに待つ姿がありました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、自然に触れる中で自ら気づきを得たり発見を楽しんだりする姿が多く見られました。例えば、サツマイモ掘りでは「大きいのが取れた」「ミミズがいたよ」などと喜び、秋の散歩では「葉っぱのあめ」と言って落ち葉を集めて雨に見立てて降らせるなど、自然を通じた遊びが広がっていきました。また、リトミックでは、動物の真似をすることで、体を動かす楽しさを感じるだけでなく実際に観察した動物への興味が深まっていきました。親子リトミックでは、保護者と一緒に活動することで、子どもたちがより安心してのびのびと体を動かせることを実感しました。さらに、チューリップの球根を植えた際には「まだ咲かないね」などと成長を待ちわびる声が聞かれ継続的な活動を通して、子どもたちが自然の変化を楽しみにできる環境を大切にしていきたいと感じました。これらの気づきを踏まえ、今後も子どもたちの興味や発見を大切にしながら主体的に関われる活動を工夫しながら取り組んでいきたいと思います。